

1995 年 8 月 10 日 第三種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）

2021 年 12 月 21 日発行 SSKS 増刊通巻第 8372 号



つばさ なんばー
tsubasa N o.158



しゅくせいじん かんれき
祝成人・還暦おめでとう！

じりつすてーしょん つばさは、どんなに重いしょうがいをもっている
その人らしい自立が実現できるように支援するステーションです。

せいかつじゅう
つばさ生活塾

いっしょ
しょうがいしゃと
たいこ
太鼓をたたこう！

しょうがいしゃと健康者が一緒にた
ける太鼓で、ともに音楽を奏でよう。



クリスマス
みんなで太鼓をたたきたい★

さんか
参加したいしょうがいしゃ・ボランティアさん募集中♪



じりつ すてーしょん
自立ステーション
つばさ

とうきょうとたましまひきざわ
〒206-0023 東京都多摩市馬引沢1-16-4

「レスト96」102号室

でんわあんどふあつくす

電話&FAX 042-389-6491

メール tsubasa@age.jp

さんかきぼう
参加希望の方は、自立ステーションつばさ事務所
までご連絡ください。

ひにち
日にち

がつにち 12月24日（金）2:00 pm ~ 4:00 pm

ばしょ
場所

ながやまこうみんかん5かいべるぶほーる
永山公民館5階ベルブホール
じゅうしょ たまし ながやま
（住所：多摩市永山1-5ベルブ永山）

さんかひ
参加費
たいしょう
対象

むりよう
無料
たいこ
太鼓をたたきたい人
ぼらんていあ きょうみ
ボランティアに興味のある人
はじ
初めての方、大歓迎！

問い合わせフォーム



お問い合わせフォーム



クリスマス忘年会のお知らせ



今年もクリスマス忘年会を開催します。今年度もリモートでZoomを使って行います。

つばさに関わってくれている皆さんにお集まりいただき、交流したいと思います。

ぜひご参加ください！参加希望の方はつばさ事務局までご連絡ください。



以前のクリスマス会の様子です！



日時: 2021年12月27日(月) 午後2時から

★参加される方はお知らせください！

➡ 自立ステーションつばさ ☎042-389-6491



新年会のお知らせ！

日時: 2022年1月8日(土) 午後開始予定！

くわしくは新年号にて！





かみやまらい ち まつもとかん た せいじん さい
神山来地さん、松元幹太さん成人(20歳)

おりかさとみ こ かんれき さい いわ しゅく かいさい
折笠富子さん還暦(60歳)のお祝い『祝20☆60』を開催しました！



しんがた ころ なう い る す えいきょう がつ えんき つづ
新型コロナウイルスの影響で1月から延期が続いていたのですが、ようやく11月27
にち ど にん いわ おりかさとみ こ じりつせいかつ ねん かし
日(土)に3人のお祝いすることができました。折笠富子さんは、自立生活も 20年の節
め むか におも で とみこ ぱわふる えび そーど き
目を迎えました。みんなとの思い出など、富子さんらしいパワフルなエピソードを聞け
ておもしろかったです。まだまだやりたいことがたくさんあるということで、これからも
げんき とみこ じりつせいかつ そんなせんぱい
元気に富子さんらしく自立生活をおくってってもらいたいです。そんな先輩のように、
らいち かんた ちいき い じりつ れんしゅういつしょ がんば
来地さん、幹太さんも地域で生きていけるように、これからも自立の練習一緒に頑張
ろう！といった感じで、当日はリモートで会場の事務所や各自宅をつなぎ、みんなで3
にん あら かどで いわ ほんとう たきざわ
人の新たな門出をお祝いしました。本当におめでとうございます！（瀧澤）

せんじつ すてき せいじん いわ
先日は、素敵な成人のお祝いをしていただき、ありがとうございました。

ねんかんとうきょう はな がつ とうきょう もど ころ な か
6年間東京を離れて 4月に東京に戻ってからも、コロナ禍ということもあり、あまり
つばさでの活動に参加できていない中、たくさんの方々に祝っていただき感謝の気持
ちでいっぱいです。だいぶ おとこまえ えが かがた いわ かんしゃ き も
だいぶ 男前に画いてもらった顔が入ったケーキや素敵な
ぶ れ ぜんと たいせつ つか
プレゼントもありがとうございました。大切に使用させていただきます。

これから、つばさでの活動で色々な経験を積み、みなさんの力を借りながらも逞
しく成長していけたらと思います。この度は、本当にありがとうございました。

まつもと かん た
(松元幹太)

いまみんなで会えていること、それは大事だから会えていること。喜びあいたいで
す。みんなでどんなことあっても乗り越えていきましょう。(かみやま らいち
神山来地)



せいじん かんれき
成人・還暦おめでとうございます！

3くじ
60さいのわんわんのおいおい

11月27日(土)

おとしは 60さいのわんわんのおいおいをしつもんしました
かみゆり(いち 20さいのわんわんのおいおい 2人
なぐんでくれました

わたしはR.L.をくれました

またしくすふをくれた

だしもの びんも もりだくさんでした

こうはんせんは びん 2つの ちんちん きました

かみゆり びん 2つ でした

また けーき 2つ びん 2つ もりだくさん きました

けーきは わたしの 2つ くれました

また びん 2つ もりだくさん きました

ハート 2つ 2つ 2つ 2つ もりだくさん きました

うめし 2つ 2つ

また もりだくさん きました

たくさんのおいおいをしつもんしてしつもんして

きもちになりました

たくさんのおいおいにしつもんしてしつもんして

60さいのわんわんのおいおいに きました

60さいのわんわんのおいおいに きました



おとしは 2
おとしは 2

た ま し こうろうしゃひょうしょうしき しゅっせき
多摩市功労者表彰式に出席しました。



ねん がつ にち わたし す た ま し し せ い しゅうねん むか がつ にちぶんか
2021年11月1日で私たちの住んでいる多摩市が市制50周年を迎え、11月3日文化
ひ デイ ター ホール ひょうしょうしき おこな
の日にヴィータホールで表彰式が行われました。この表彰式は多摩市で 25年
いじょう た ま し こうけん きぎょう だんたい こじん かた たた
以上多摩市に貢献している企業や団体、個人の方などを称えるというものでした。

わたし た ま し しょう ふくしか すいせん ひょうしょう いま
私たちつばさは多摩市の障がい福祉課からの推薦で表彰されました。今から
ねんまえ ちい あばーと いっかく はじ じりつ すてーしょん
27年前に小さなアパートの一角から始まった、自立ステーションつばさ。これまで
めい し せつ おやもと ちいき く しえん げんざい
に15名のしょうがいしゃを施設や親元から地域で暮らす支援をしてきました。現在
めい じりつ おやもと かよ わかもの けんじょうしゃ す たっふ とも とき
では6名の自立しょうがいしゃと親元から通う若者と健常者スタッフと共に、時に
あ かつどう わたし せだいこうたい だいひょう はや ねん
はぶつかり合いながら活動しています。私に世代交代して代表になってから早5年。
だいひょう がんばり いただ
しばらく代表として頑張らせて頂き、いつになるかわかりませんがつばさのよう
だんたい さべつ
な団体がなくても差別されることがないように、しょうがいしゃがあたりまえに
ちいき せいかつ しゃかい おも
地域で生活できる社会になればいいなと思いながら、これからも活動を続けていき
ます。

「へいわについてかんがえよう」

おんらいんかいさい
～オンライン開催しました～



8月11日(水)、「^がつ^にち^{すい}へい^わについて^{かん}がえよう～^{だい}に^じせ^{かい}たい^{せん}から^{まな}ぶ～」と題して、^りも^ーと^{めい}で40名ほどの^かた^{さん}の方に参加いただき開催することができました。

第1部では、しょうけい^{かん}館（戦争^{せん}病^{そう}者^{びょう}史^し料^{りょう}館）「次世代^{かい}の語り部^{かい}」の講話^{こう}として、^{ちゅう}ごく^{せん}せん^{おも}む^ふしょう^ひだり^{あし}う^しな^かた^{たい}けん^はな^こう^わ中国戦線に赴き負傷して左脚を失った方の体験をお話ししていただきました。

「次世代の語り部」とは、戦争体験者が年々少なくなっている中、戦争体験を次の世代に語り伝えていこうと活動されている戦後世代の方々です（しょうけい館の事業に参加され研修を修了された方）。今回の語り部さんが、たまたま同世代ぐらいの若い方だったのが印象的でした。戦時中の過酷な体験や、戦争が終わり時代が大きく変化していく中での苦労を聞き、改めて戦争の悲惨さを感じました。今の自分たちの世界、そして次の世代に、しっかりとつないでいくことがとても大事だと思いました。

第2部では、広島や長崎で被爆された方のお話、戦時中の食事やしょうがいしゃの体験についてなど、つばさメンバーがそれぞれ調べ考えたことなどを発表しました。

戦争中にしょうがいしゃが受けてきた差別の話は、とても恐ろしいものでした。戦争の役に立たない穀つぶし、足手まといと、優性思想が当然のようにまかり通り多

くのしょうがいしゃが^{ひど}酷い^め目に^{ころ}あいて、殺^{ころ}されました。こんなことは絶対^{ぜったい}二度と起^おこしてはいけない、しかし^{いま}今の日本^{にほん}において、まだまだ^{ゆうせい}優性思想^{し そう}がばかり^{ひ さん}悲惨な事件^{じ けん}も起^おきています。社会^{しゃかい}参加^{さん か}の機会^{き かい}は奪^{うば}われ、^お多くの差別^{さ べつ}や無理解^{む り かい}がある、「働^{はたら}けない」「生産性^{せいさんせい}が無い」



と排除^{はいじょ}される、時代^{じ だい}が変わっても根^ねっこの部分^{ぶ ぶん}は変わっていないのだと感^{かん}じました。

司会^{し かい}の佐藤 遼 太郎^{さとう りょう たろう}さんが、会^{かい}の終^おわりに企画担当^{きかくたんとう}のおもいを言^いってくれました。

『ぼくたちしょうがいしゃは、施設^{し せつ}に入れられたり、殺^{ころ}されたりするから戦争^{せんそう}は絶対^{ぜつ}対^{たい}したくないです。平和^{へい わ}だから、地域^{ち い き}で自立生活^{じりつせいかつ}ができる。介護者^{かい ご しゃ}がいて、いろんなところに行^いける。自分^{じ ぶん}らしく生^いきられる。もっとしょうがいしゃが、生^いきやすいまちなになったら、もっと平和^{へい わ}になるとおもいます。だから、差別^{さ べつ}とか戦争^{せんそう}をさせない。しょうがいがあってもなくても、地域^{ち い き}で自立^{じりつ}して生^いきられるように、みんなでつばさの活動^{かつ どう}を頑^{がん}張^ばっていきたいです。』

自分^{じ ぶん}たちのこの企画^{き かく}、そしてつばさの活動^{かつ どう}を通して、これからも社会^{しゃかい}に訴^うえ続^{つづ}けていきます。参加^{さん か}してくださったみなさん、ありがとうご^たざいま^{きざ}した！（瀧澤威晴^{たきざわたいはる}）

かたりべさんのおはなしをきいて、かたあしがなくてもたてるんだとおもいました。かえってきて、さべつもうけたときいてたいへんだとおもいました。しかいもして、じぶんのはっぴょうもするのはたいへんでした。しかいのほうがたのしかったです。こんどはしかいだけにしゅうちゅうしたいです。みんなのはっぴょうはべんきょうになりました。らいねんもやりたいです。（佐藤遼太郎^{さとうりょうたろう}）



へいむにっいてかんがえよう

こんがいはへいむにっいてかんがえ

えようのたんにをかんがえていただく
しました。

しかりいんもかんがえていただくしました

せんそうはまだあみがないくにもありましたか
かたリアさんのはなしをきいて

せんそうこめいんもききます

ひさしのこめいんかなういさきのこめ
はなしをしたりもしました

らいずもぜひしかいをかきたいとおもいました
本をよんだりしてました

へいむにっいてしかいをかきあふから見たし。
らいずももしたきさんの本をよんで、ききかいて
みんなにしてもらって、ういすであつたうすおたか
いいな〜とおもいました



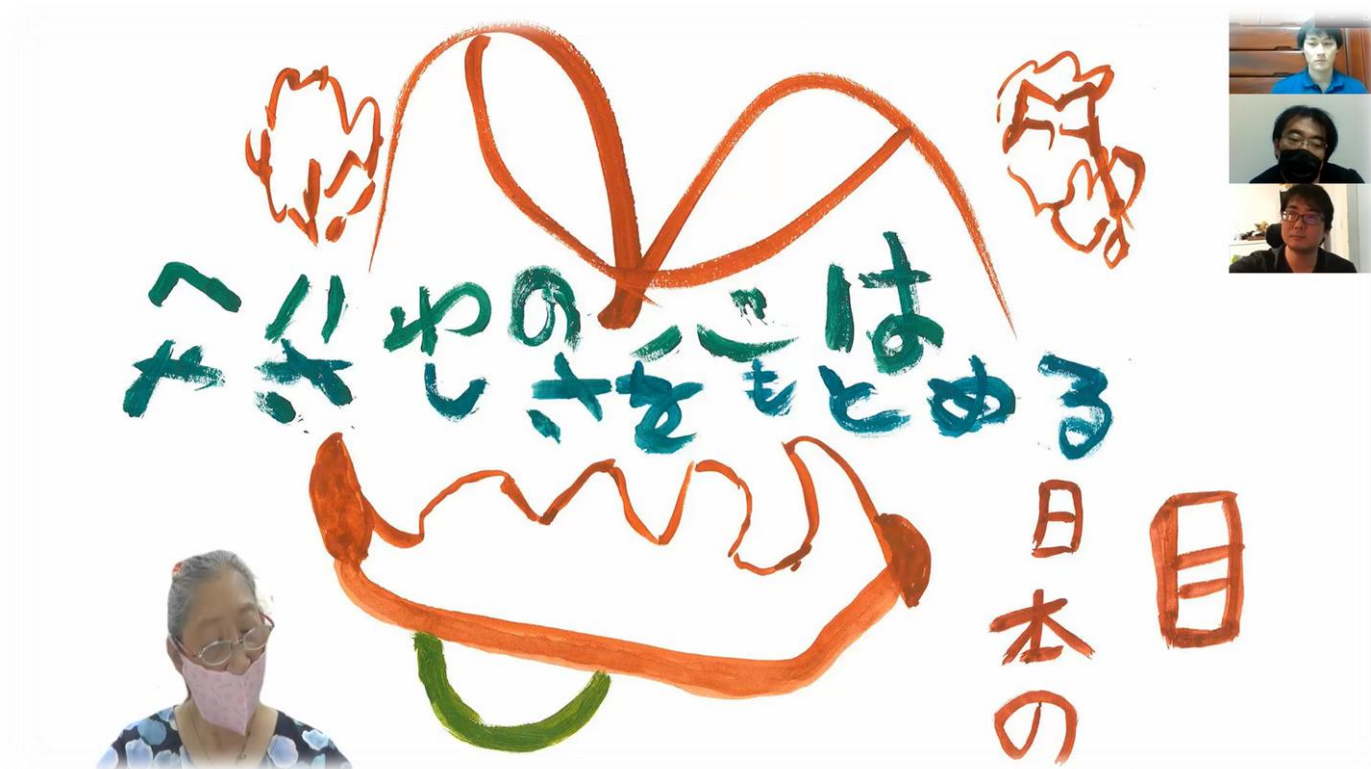
かんがえよう
かんがえよう

こ ろ な えいきょう がいぶ かた よ い ベ ン と ひさ
コロナの影響で外部の方を呼んでのイベントは久しぶりでした。

わたし とみこ いっしょ かみしばい つく ひばくしゃ ほん き じ よ まな
私は富子さんと一緒に紙芝居を作りました。被爆者の本や記事を読みこんで、学
んだことをどのような絵や文章にしたら、紙芝居を聞いてくれる人に伝わるのかを
かんが つか むづか いま せんそう お
考えながら作るのはとても難しかったです。今はいつ戦争が起こってもおかしく
ないと思います。被爆者の方の「もうこれ以上被爆者を絶対に増やしてはならない」、
この言葉は心に重く響くもので、やはり戦争は絶対に起こしてはならないです。

こんかい じゅぎょう とお で あ だいがくせい おお さんか
また今回は授業を通して出会った大学生も多く参加してくれて、つばさのみんな
のことや活動を知ってもらい、一緒に平和について考えることができてよかったで
す。次回は今回以上に多くの人に参加してもらい、一人一人の戦争は絶対にしてはい
けないという思いが伝わるイベントにしていきたいです。

うえむらあさみ
(上村麻美)



かた ベ はなし き かんそう
語り部さんの話を聞いての感想

せんそう い あし き え び そ ど いんしょう のこ
戦争に行き足をとられて、切らなきやなくなかったエピソードが印象に残った。
せんそう おも
戦争はこわいと思った。

わたなべだん
(渡部暖)

はじ じ せ だい かた べ はなし き せんそうたいけんしゃ かた き はなし
初めて次世代の語り部さんのお話を聞きました。戦争体験者の方から聞く話と
ちが かと べ ふ い る た ー とお き ぎゃく み ち か はなし いんしょう
違って語り部さんのフィルターを通して聞くことで、逆に身近な話のような印象
つよ
が強かったです。戦争を実際に体験していない私たちがこれから時代を作っていく
なか じぶん し おも ざんねん せ かい
中で自分が知るだけでとどまてはいけないなと思いました。残念ながら世界から
せんそう き いまに お し み ち か か ぞく な か ま
戦争は消えていませんが、「今何が起きているのか」を知って、身近な家族や仲間
きょうゆう せ かい か だい ほ かん
と共有することが、世界を変える第1歩なのかなと感じました。

くろ だ か な こ
(黒田香菜子)

じ だい な が お な し ょ う が い し ゃ ま っ た あ つ か か た か て ん
時代の流れによって同じ「障害者」でも全く扱われ方が変わってしまった点が
つよ いんしょう の こ し ょ う が い し ゃ み ま わ ひ と び と く に せ い さ く
強く印象に残っています。これは障害者の身の回りにいる人々や国の政策によっ
て、障害者が、健全者と同等にその人らしく自由な人生を送ることができるかが
し ょ う が い し ゃ け ん じ ょ う し ゃ ど う と う ひ と じ ゅ う じ ん せ い お く
如何様にも変えられることを示唆していると考えました。

だ と す れ ば ほ ん き し ょ う が い し ゃ せ い さ く ひ つ よ う せ い う っ た し え ん さ ん か こ う ど う お
だとすれば、本気で障害者政策の必要性を訴えたり支援に参加したり行動を起
こすことで国が動かされれば、障害者の暮らしや人権を守ることが可能です。障害者
く に う ご し ょ う が い し ゃ く じ ん け ん ま も か の う し ょ う が い し ゃ
を虐げるのも、共生するのも、私たち次第なのだと感じました。

さ ん か し ゃ え す
(参加者Sさん)



ろうどく あ
さおりさんの朗読に合わせて、

だん え か
暖さんが絵を描きました。



発表を聞いて・やってみての感想

それぞれの視点から学んでいく企画ではどれも印象的で、初めて学ぶものばかりでした。特に神山来地さんの嚆下障害から見つめる戦争期について、マッシュ機がない時代ご飯をどう食べていたのか、またそれを実践していたところが印象的でした。生きるうえで重要な「食べることに」焦点を当て、平和を願うことは必要不可欠なことだと感じました。また、長崎の被爆地にあった盲学校の話では、障がいを理解してもらえない苦しさ伝わって、聞くに堪えないつらいお話でした。今まで以上に戦争の悲惨さを感じられました。この時代の共生社会はもとより障がいへの理解が皆無であることを改めて知ることができました。渡部暖さんの平和を込めた絵も印象的でした。平和を学び、想いを作品に込める。素敵な作品に魅了されました。藤吉さおりさんのピカドンや紙芝居でも発表がとても分かりやすく、平和についてもっと知るべきことがたくさんあるなと感じられました。戦争が風化していかないように、私たちが能動的に戦争について学んでいくことがどれだけ重要なことか思い知らされました。

（参加者 T さん）

「いのち」 藤吉さおり

いのち・・・それは、みんなに平等に与えられるもの。

植物にも、動物にも、そして人にも。

でも、この世界にうまれてきて、

周り「色が違う」「形が変」と言っではじかれる。

人も同じ。

しょうがいや病気があっても

みんなの輪からはじかれる。

色が違って、形が変わっていても、

しょうがいがあっても、病気があっても、

いのちの重さは変わらない。

要らないいのちなんてない！

戦争こそ要らない！！



だん 暖さんの絵



せん じ ちゅう しょく じ しら
戦時中の食事について調べて、
むぎとあわの雑炊を作ってみました。
えん げ しょうがい らい ち
嚥下障害のある来地さんが
た
食べるためには、どうしたらいいか
かんが ため
考えて、試してみました。

それぞれ工夫がなされていて時間をかけて準備したのがよく伝わってきました。
せんそう しょうがい ぶぶん おお とうじしゃ はっ り ある
戦争と障害はつながる部分が多く、それを当事者が発することで、よりリアルに
せつとくりよく かん たかぎ れ お
説得力のあるものになっていると感じました。（高木伶朗）

むぎとあわをいれておいしくなかった。かたかった。せんそうちゅうでたいへんだ
なとおもった。（ながおか
長岡しづき）

すりばちで まっしゅ



むかし みる さ - ベー す とじょう
昔は、ミルサーはないので、ペースト状に
なるようによく刻んで、すりつぶしました。

ざるで こす

ひじりがおかきゅうすいじょけんがくくんれん す わ ちゅうがっこうぼうさいくんれん さんか 聖ヶ丘給水所見学訓練&諏訪中学校防災訓練に参加しました！

2021年9月に聖ヶ丘給水所見学訓練に参加しました。今回は東京都水道局の方の協力で、災害があった際に水がもらえる給水所の見学をしました。自治会の方も合わせて20名以上の方が参加していました。給水所では職員の方が詳しい説明をしてくれ、実際に水道から出る水の水質調査を試みたり、飲んでみたりしました。



きゅうすいじょけんがくくんれん さんか
水をどうポンプでくみ上げるかを、くわしく丁寧に教えてもらいました。参加してよかったと思いました。
(折笠)



自治会の人と一緒に給水所まで行く際、途中の坂がかなり長かったので、自治会の方に手伝ってもらえたのはとてもいい機会だと思いました。普段坂を上ること、有事の際に車いすが給水所に行く場合どれだけ大変かなどを知ってもらえたと思います。(石橋)



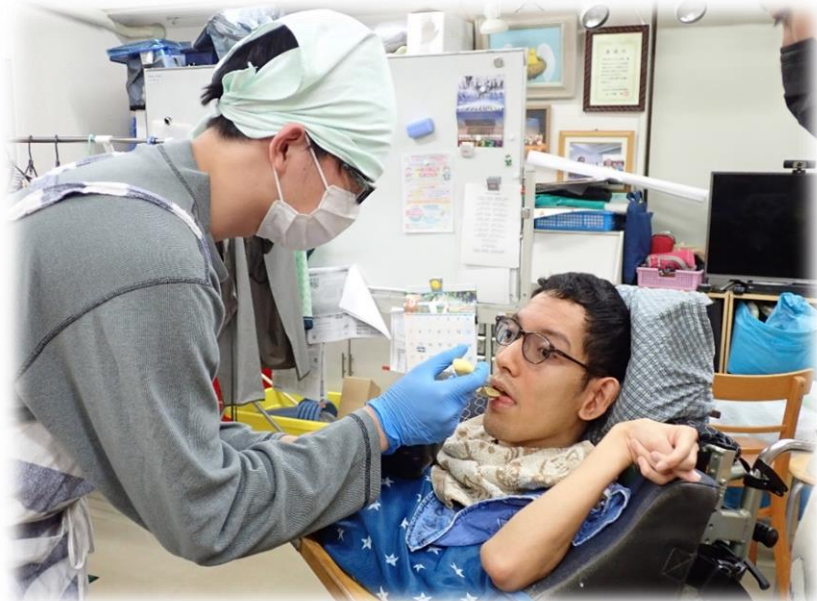
ひじりがおかきゅうすいじょけんがくくんれん さんか
聖ヶ丘給水所の近くは、道が狭く坂もあったので、災害の時に人が集まると給水所に着くのに時間がかかりそう。給水所には水が出る蛇口が数か所あり、ホースで水を流すこともできて水を汲むのは簡単だった。水道局の人が言っていた「町が停電すると、給水所から出る水も止まってしまうことがある。給水所に溜めてある水は水槽と配水管通って常にきれいな水が保たれている。」（実際にお水は透明でおいしかったです。）（則松）

2021年10月には諏訪中学校での防災訓練に参加しました。今回はコロナ禍の中、つばさのメンバー以外にも多摩市防災安全課の方、諏訪中学校副校長先生、社会福祉協議会の方、地域の各地区の代表者の方たちが集まり、20名以上での訓練となりました。防災倉庫の中の物資を確認したり、今回新たに設置されたスタンドパイプの設置・操作訓練を行いました。

ぼくは、車いすなのでスロープや障がい者トイレなどがある中学校にあんなに食料があり、そこに避難できるので少し安心しました。(佐藤)

防災倉庫は、食料は基本的に一日分しかないので、個々で何日か分の食料を常に用意しておく必要性を感じました。つばさでは、災害時に備えて防災の話し合いなどをしていますが、介護者が駆けつけられない場合は近くに居る地域の方々の手助けが必要不可欠です。地域の方々との日ごろからの関わり大切さを改めて感じました。(小池)

福祉を学ぶ実習生さんと交流しました！



今年度も都立大の実習生さんと交流をすることができました。昨年に引き続きコロナ禍が続いていますが、中止はせず、ZOOMを使い交流しようとみんなで決め、できることをみんなで考え、工夫をしながらしょうがいしゃの生活を伝えていきました。映像をつかったり、パワーポイントのスライドを使い、しょうがいしゃの自立生活の現実やしょうがいしゃを取り巻く社会の法制度などについて話しました。また、コロナウイルス感染者数が落ち着いてきた9月ごろに実際に自立ステーションつばさにきてもらい、外出や行政との交渉などの場面を一緒にすごしてもらい、しょうがいしゃの現状への理解を深めてもらうことができたと思います。以下学生の感想を抜粋します。

・・・3回目の実習では映像で得られなかったことを見聞きでき、思ったことをその場で質問することでかなりいろいろなことを知れたと思います。特にみなさんが楽しそうにしているのが印象的でした。突然決まったお出かけも自立生活の楽しさを教えるためとのことで非常に納得しました。・・・(Sさん)

・・・大学の授業で教わることと当事者が実際に考えていることは必ずしも一致しないと分かった。また、障害者と健常者の間には壁があると感じていたが、自分自身が「障害者の人にどう接したらいいかわからない」という理由で壁を作っていたことが分かった。・・・(Kさん)

・・・つばさでのお話で、健常者と障害者がお互いを知らないから起こる差別や嫌な事があるというのを、強く感じた。もっと関わりを持っていき会おうべきだと感じた。・・・(Kさん)

また、夏休みボランティアとして多摩市内小学校の先生の参加もありました。「今回、自立して生きている障がい者の姿を初めて知りました。子どもたちにも知ってほしいと思います。」と感想を頂きました。今後新たな出会いを広げ、地域に生きる障がい者のことを知ってもらうべく、交流を続けたいと思います。

つばさ ボランティア、メンバー大募集!!

自立ステーションつばさはどんなに重いしょうがいをもっている、
その人らしい自立が実現できるように支援する団体です

自立の家

施設や親元から離れ、地域で暮ら
したいと望むしょうがい者を
対象に、自立生活の練習の場を
提供しています。自立を望むし
ょうがい者大募集中！

つばさ生活塾

しょうがいしゃ運動の歴史や制度の
勉強会、地域でのイベントなどを定期的
に開催しています。一緒にしょうがいしゃ
の現状を学んでみませんか。

介護ボランティア

自立生活をしているしょうがい者の
自宅での生活を、短い時間でもお手伝
いください。経験がなくても大丈夫。
見学もできます。興味がある方はまず
ご連絡ください☆

自立ステーションつばさ 連絡先

《Tel&Fax》 042-389-6491

《Mail》 tsubasa@age.jp

まちづくり

バリアチェックや学校での講演会、防災へ
の取り組みなどを行い発信しています。
また、地域で生きていくための制度の実現
など、行政への働きかけも行なっていま
す。

まいう

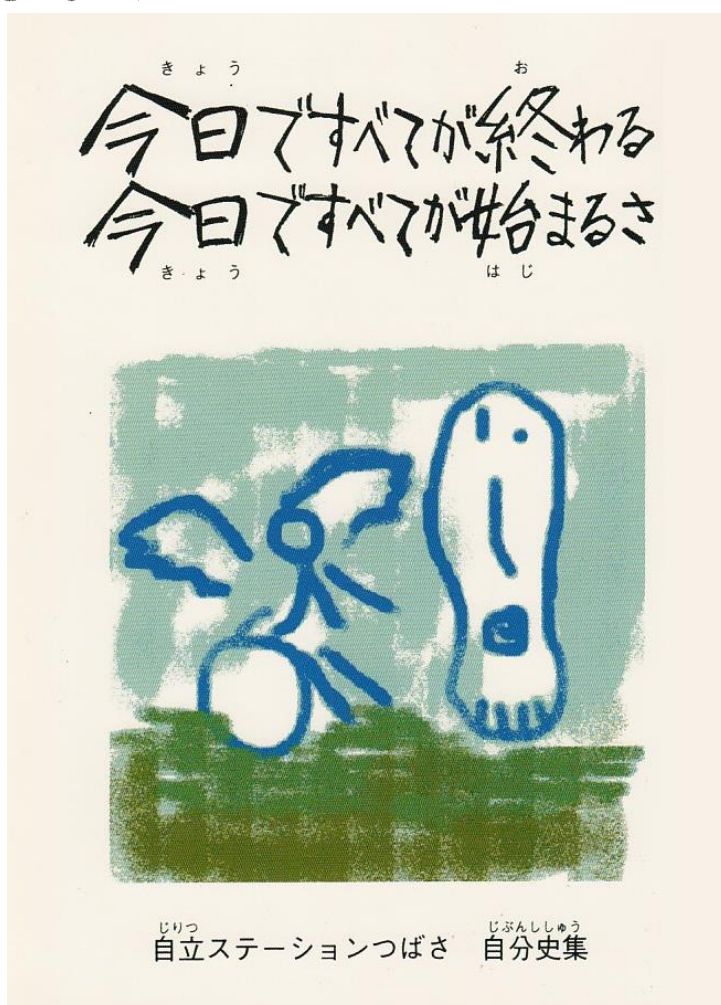
特別支援学校に通うしょうがい児が、幼
いうちから地域社会に触れ、社会経験を
広げて主体性を養い、卒業後の進路とし
て作業所や施設ではなく、自立生活を
選択できるよう毎日放課後活動を行なっ
ています。また宿泊体験も実施して自分
で生活する練習を一人一人に合わせて
取り組んでいます。
一緒に活動したい若者、スタッフ
募集中！

つばさ太鼓

しょうがい者とけんじょう者が太鼓の
両面を叩きます。お互いの関係を深め
ていくための太鼓です。地域のお祭りな
どにも出演しています。一緒に太鼓を
叩いて交流しませんか？練習見学
歓迎！



きょう お
今日ですべてが終る
今日ですべてが始まるさ
きょう はじ



じりつ すてーしょん じぶんししゅう
自立ステーションつばさ 自分史集

じりつ げんじつ
しょうがいしゃの自立の現実、

じりつ おも
自立にかける思いがここに！

いっさつ えん

一冊 1200円



かつどうほうこく 活動報告



がつ



がつ

7日(土)ミーティング

11日(水)講演「平和について考えよう」

14日(土)ミーティング

21日(土)ミーティング

27日(金)ミーティング

28日(土)畑作業

29日(日)畑作業



がつ



1日(水)ミーティング

5日(日)馬引沢クリーンデー参加

6日(月)ミーティング

11日(土)共生研修

14日(火)たいこ練習

15日(水)ミーティング

23日(木)ミーティング

25日(土)多摩大学給水所見学

29日(水)ミーティング



はじめて陶芸に挑戦しました！



がつ

7日(木)ミーティング

13日(水)ミーティング

14日(木)ミーティング

18日(月)ミーティング

21日(木)ミーティング

22日(金)ミーティング

23日(土)諏訪中学校防災訓練に参加

26日(火)西生田中学校オンライン授業実施

29日(金)ミーティング



がつ

2日(火)西生田中学校オンライン授業実施

3日(水)ミーティング

4日(木)ミーティング

7日(日)馬引沢クリーンデー参加

13日(土)ミーティング

18日(木)ミーティング

19日(金)ミーティング

20日(土)ミーティング

とりつだいぼらんていあさーくる
都立大ボランティアサークルの
学生と打ち合わせ

24日(水)ミーティング

27日(土)20☆60 おいわいの会開催

30日(火)ミーティング

4日(土)ミーティング

6日(月)衛生講習

8日(水)ミーティング

10日(金)東 橘 中学校オンライン授業実施



き ふ さんじょかい いん かた
寄付・賛助会員となっていた方



ありがとうございました

まいつきみなさま かんばん じりつ いえ いじ かつどう つか いただ
毎月皆様からいただいたカンパは自立の家の維持や活動に使わせて頂いており
ます。つばさもせつりつから 27 年を迎え、すこ ちい き みなさま し
っていただけだんたい こんご か し え ん ねが ちゅう
団体となりました。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申
し上げます。

ふかだ こういちろうさま いしかわ み き こ さま たけだまなぶさま ながおか えい こさま
深田耕一郎様 石川美紀子様 武田学様 長岡栄子様

あ そ たい いちさま しみず たて おさま し と ろ と さま いしだ たけつぐさま じゅんふ どう
阿曾太一様 清水建夫様 シットロト様 石田武継様 (順不同)

ほかたすう かた き ふ いただ
他多数の方からご寄付 頂きました。



へんしゅう こう き
編集後記



ねん ま まいとし い き
1 年って、あっという間と毎年言っている気がします。つばさにとって 2021 年も大変な
とし あたら で あ じゅうじつ とし みな ころ な つづ
年であり、新しい出逢いのある充実した年でもありました。皆さんもコロナが続くなか、
せいかつ かつどう かた おお おも たが がんば ころ な ふ と
生活も活動もままならない方も多いと思いますが、お互い頑張ってコロナを吹き飛ば
しまししょう！(ふじよし 藤吉)

へんしゅう ぱ そ こん
編集・パソコン

ふじよし かな い ま こ と あいざわ ま こ と たか の
藤吉さおり 金井 誠 相澤 誠 高野さくら

はつこうしょ
発行所

しょうがいしゃだんたい い き かんこうぶつ きょうかい
障害者団体定期刊行物協会

とうきょうとせ た が や く そ し が や
東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

へんしゅう じりつ す て - し ょ ん だいひょう ふじよし
編集 自立ステーションつばさ 代表 藤吉 さおり

〒206-0023 たまし まひきざわ れすと ぐう
多摩市馬引沢 1-16-4 レスト96 102号

でんわ あんどふあつくす
TEL & FAX. 042-389-6491

いー めーる
Eメール tsubasa@age.jp

はんか えん
頒価 100円